

環境仕様



「2030年度燃費基準80%達成車」
Original (FF)、
Premium (FF)



「2030年度燃費基準75%達成車」
Premium Tourer (FF)、
Original (4WD)、
Premium (4WD)



「2030年度燃費基準70%達成車」
Premium Tourer (4WD)



「平成30年排出ガス基準50%低減レベル」認定車
全タイプ

車両型式		5BA-JG3			5BA-JG4	
基礎情報	原動機	型式	S07B			
		総排気量(L)	0.658			
	駆動装置	駆動方式	FF			4WD
		変速機	CVT		6MT	CVT
燃料消費率 ^{*1}	JC08モード	燃費 (km/L)	28.8	25.6	22.0	25.4
		CO ₂ 排出量(g/km)	80.6	90.7	105.5	91.4
		〈燃費からの換算値〉				97.5
	参考		2030年度燃費基準 80%達成車	2030年度燃費基準 75%達成車	—	2030年度燃費基準 75%達成車
	WLTCモード	燃費 (km/L) ^{*2}	23.2	21.9	21.6	21.0
		市街地モード (WLTC-L)	19.5	17.6		18.1
		郊外モード (WLTC-M)	25.2	24.0	22.9	22.3
		高速道路モード (WLTC-H)	23.8	22.9	23.0	21.7
	CO ₂ 排出量(g/km) 〈燃費からの換算値〉		100.1	106.0	107.5	110.6
						117.3
環境性能情報	適合規制・認定レベル		平成30年排出ガス基準50%低減			
	試験モード		WLTCモード			
	排出ガス (単位:g/km)	CO	1.15			
		NMHC	0.05			
		NO _x	0.025			
		PM	—			
	参考		九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)		—	九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)
適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値：加速走行68dB (A)				
エアコン冷媒	種類/GWP値 ^{*3}		HFO-1234yf/1 ^{*4}			
	使用量		370g			
車室内VOC		自工会目標達成（厚生労働省室内濃度指針値以下）				
環境への取り組み	環境負荷物質削減	鉛 ^{*5}	自工会2006年目標達成（1996年使用量 ^{*6} の1/10）			
		水銀 ^{*7}	自工会目標達成（2005年1月以降使用禁止 ^{*8} ）			
		六価クロム	自工会目標達成（2008年1月以降使用禁止）			
		カドミウム	自工会目標達成（2007年1月以降使用禁止）			
		自工会目標適用除外部品	*5：鉛バッテリー（リサイクル回収ルートが確立されているため除外） *7：ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピューターモード、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)			
	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て			
		リサイクルし易い材料 ^{*9} を使用した部品	ウインドウモール、ウォッシャーチューブ、エアフローチューブ、エンジンハーネス、 カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、サンバイザー、センターコンソール、 ドライビング、パンパーエース、ピラーガーニッシュなどの内外装部品			
環境負荷物質使用状況等	再生材を使用している部品		—			
	リサイクル可能率		車全体で95%以上 ^{*10}			
	鉛		使用部品：塗装・ゴム部品、圧電素子等(PZTセンサー)			
		水銀	全廃済み			
		六価クロム	全廃済み			
	カドミウム		全廃済み			
	その他	グリーン購入法適合状況	—			

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

*2 WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

*3 GWP : Global Warming Potential (地球温暖化係数)

*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下（対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値）にすることを求めております。

*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850 g (バッテリーを除く)。

*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。

*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。

*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン（1998年 自工会）」に基づき算出。

*9 この環境仕様書は2025年11月現在のものです。